

若者

今年是全国70カ所で
地域活性化といふは、ここ数年、B級グルメに注目が集まっていた。それが今や街コンが新たな街おこしの目玉に躍り出た感があるのだ。



11月だけでも「湯コン」(新潟市)、「愛タッチ」(松山市)、「浜コン」(兵庫県淡路島)、「とやコン」(富山市)など全国二十余の都市で街コンが開催された。2千人を超える参加者を集めるケースも。「宮コン」は、最近では2か月に1度のペースで開かれ、11月で35回を数えた。11月26日の「KOコン」

「街コンが地域活性化の新たなビジネスモデルになっている」中小企業支援事業を行う「チ

エンバメディア」(東京都)の林智史さんは言う。同社は全国の街コン情報を掲載するサイト「まちコンポータル」を開設しているが、今年はその70カ所で開催された。林さんは、街コンのゆるい関係が若者たちに受けているのではないかと見る。「大勢が集まる出会いの場には婚活パーティーなどがありますが、司会がいたりして少し堅苦しい感じがする。しかし街コンは、居酒屋で飲んでいて隣同士になった異性と意気投合するシチュエーションと似ているので居が低く、食べ物と恋を結びつ

けたのも、若者に受け入れられる原因ではないでしょうか」
東日本大震災で広がる
全国的な盛り上がりを見せる街コン。じつはその多くは、東日本大震災後に始まった。出会いと復興、10月に仙台市内で開催された街コン「せんコン」には、そんなキャッチフレーズが掲げられた。20代を中心に、県外からの参加も含め約1300人の男女が集まった。「せんコン」副実行委員長の大友優さん(32)は言う。「震災以降、家族や友人たちと

の出会いや絆を大切に人が増えていきました。飲食店に対して、復興に向けて背中を後押しするが目的です」
仙台市内の飲食店は震災による自粛ムードなどで大きなダメージを受け、店を閉じたところも少なくない。しかし、女性同士でメールアドレスを交換するシーンがよく見られた。大友さんは様々な方向とつながりを持ちたいと考えていると実感したという。震災を機に強くなった、人との「絆」を意識し「つながり」を大切に思う気持ち。街コンの増加には、そんな背景もあるのだと

そう話す、那珂市に隣接する本宮市に住む女性(35)は、友だちと一緒に参加した。これまででは男性との出会いに無関心で、「合コン」と名のつくものに参加したことはなく、一人で悠々と自遊、趣味のフラメンコに夢中になっていた。しかし3月の大震災で、住ん

とりわけ那珂市は、福島第一原発の事故の影響で今も放射線量の高い地域があり、不安を感じながら暮らす人も多い。そこへ、「元氣出そうぜ」というイベントを立ち上げた。来年3月には第2回「KOコン」を予定している。「放射能も心配で、しばらく外で飲たままです。このようにみんなで集まっているだけで楽しんでいます。参加店の居酒屋。26歳の男性はそう笑うと、から揚げにうまそうにかがりました。

編集部 野村晶二



はるばる鹿児島から職場の先輩3人と新幹線で駆けつけた23歳の男性は「彼女がほしい」とビールを片手に気分十分。11月12日の「ひろコン」で

街コンで婚活も復興も

男女2500人が大合コン

市街地をまるごと会場にした合コン＝街コンが、全国各地で花盛り。今や、街おこしと男女の出会いを演出する場として注目されている。震災後に急増しているが、その心は――。

夕間に包まれた広島市中区の流川・薬研堀地区。11月12日の午後5時半過ぎ、繁華街のあちこちで宴の幕が開いた。「パンパーティー」会場となったのは、広島名物のお好み焼き屋をはじめ、居酒屋にイタリアン、ダーツバーなど同地区に点在する81店舗。最初こそモジモジして「こかきこちない男女も、グラスを重ねると5分後には打ち解け、盛り上がった」。「こから来たん?」「ひよっとして平成生まれ?」それマゾで――。「ひろコン」と名づけられた、市街地全体を合コン会場に見立てたこの「街コン」は、9月に続き第2弾。参加者は第1弾の約1千人を大きく上回る約2500人に膨らみ、国内最大規模となった。20代、30代が中心だが、既婚者や40代もいる。男性6千円、女性4千円の前売り券は、男性が1週間前、女性は2週間前に完売。県外からの参加者も1割近くを占めた。

と異性とのお出合いに胸をときめかせ、広島の夜を楽しんだ。「街コン」が、全国各地に広がっている。先駆けは、宇都宮市の「宮コン」2004年8月に、地元飲食店の店主たちが、4店舗活性化のために仕掛け、4店舗に170人が集まったのがスタートとされる。「ひろコン」をプロデュースした、映画監督で広島出身の窪田崇さん(34)は言う。「一番の狙いは、広島にまた戻って来てもらうこと」中国・四国地方最大の繁華街といわれる流川・薬研堀地区も、全国の地方都市と同じく、長引



街コンの仕組みはほぼ共通。参加者は当日渡される参加証代わりのリストバンドと地図を手に、指定された参加店を回す。制限時間は3時間ほどで、店では飲み放題、食べ放題になる「ひろコン」で

photo 前田博史

今回の「せんコン」は1月22日(日)に仙台駅東口エリアで開催します!